

開成町「南部第3地区」構想について

1 開成町の都市計画

●都市づくりの目標

開成町では、「利便性・快適性」、「安全性」、「保健・福祉」、「文化性」、社会経済性の視点を基本理念として、将来都市像を次のとおり設定し、都市づくりを進めております。

人と水と緑が調和した活力ある快適都市 “かいせい”

開成町が持つ自然環境や歴史環境等の地域資源を大切にしながら、快適な生活をおくることのできる都市機能の充実や活力ある産業基盤の整備を進め、力強い“かいせい”を目指します

●地域区分の考え方

地域区分については、次の図に示すとおり町総合計画による3区分（北部地域「ふるさと」ゾーン、中部地域「くらし」ゾーン、南部地域「ときめき」ゾーン）を基にしながら、地域のポテンシャルを十分に発揮するよう街づくりを展開しています。

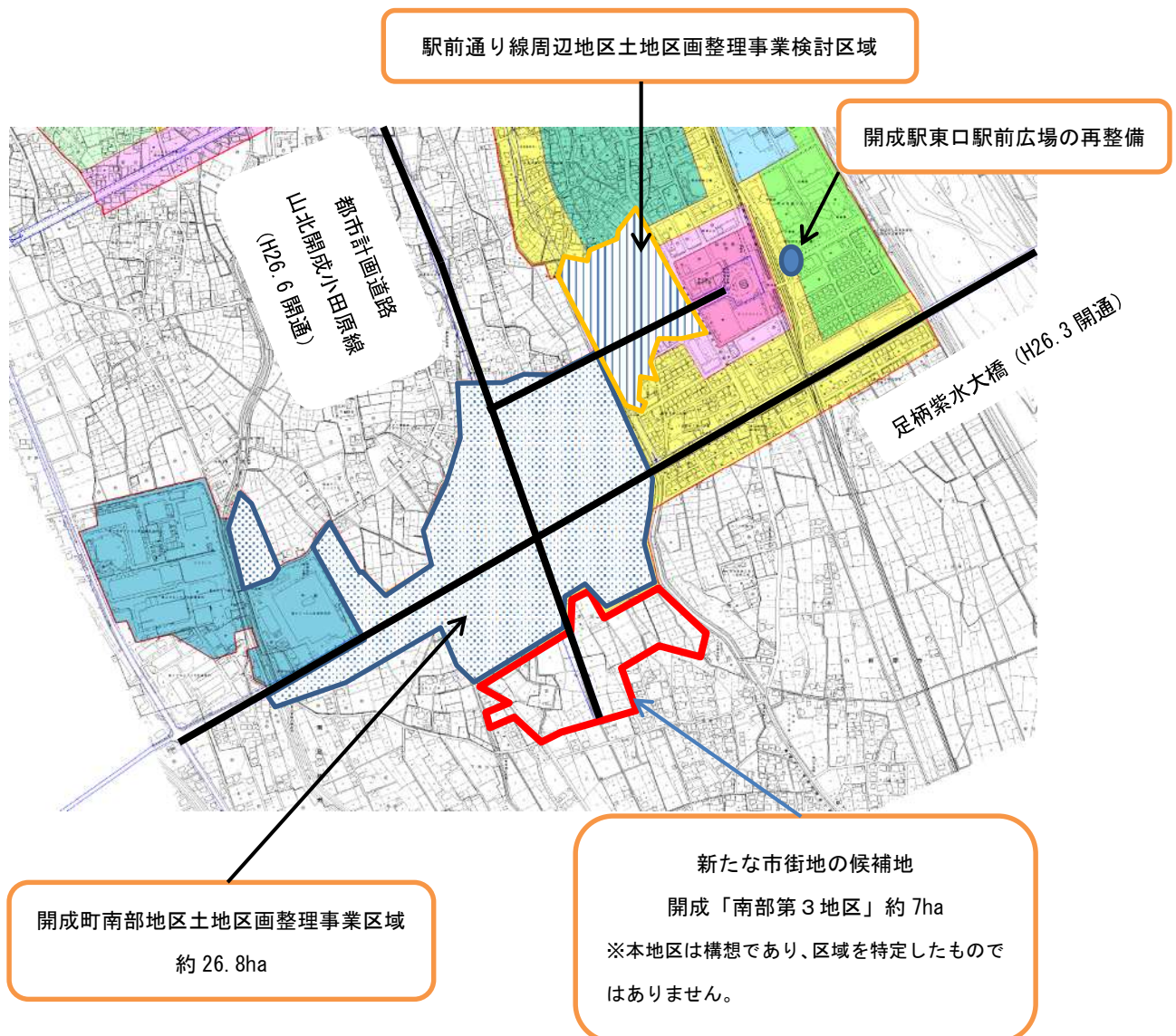


●南部地域の状況

南部地域については、「うるおいと高い利便性を兼ね備えた新たな都市拠点」の形成と「水と緑に囲まれた、職住近接型の新市街地」の創造として、開成駅を中心として交通接節としての拠点整備や質の高い住環境の整備を進めています。

主な事業

- ① 開成町南部地区土地区画整理事業の推進
(平成 27 年 3 月終了予定)
- ② 駅前通り線周辺地区土地区画事業の事業化に向けた検討
(目標：平成 30 年度事業開始)
- ③ 開成駅の機能向上として開成駅東口駅前広場の再整備



2 開成町「南部第3地区」の考え方

- 全国的な人口減少社会の中、開成町では南部地域の土地区画整理事業等による人口増加が見込まれ、また、既成市街地などの都市機能も高めながら、今後は、さらに市街化区域の拡大の必要があると考えています。
- 現在、開成駅を中心とした住環境の整備では、南部地区土地区画整理事業（26.8ha）の事業が終了に向かっており、開成駅へのアクセス性を高めるためには駅前通り線周辺地区土地区画事業の事業化の必要性も高まりつつあり、南部地域の市街化が急速に加速しています。
- 将来の望ましい都市の形成として、南部地区土地区画整理事業（26.8ha）に連担する区域で、また上下水道や都市計画道路など都市施設の整備も含め、市街化に向けて検討する必要があると考えています。
- また、南部地区土地区画整理事業（26.8ha）については、事業を開始する前において今回の「南部第3地区」の一部も含め約40haの構想で検討が進められていた経過があり、南部地域の住環境整備の状況を踏まえ、南部地区土地区画整理事業（26.8ha）に連担する「南部第3地区」（約7ha）を、新たな市街地の候補としました。